

報道関係各位

SC販売統計調査報告2016年2月 既存SC前年同月比 :+0.3%
春節によるインバウンド効果、リニューアルによるテナント新店効果によって売上増

＜全体概況＞

2月の既存SC売上高は前年同月比+0.3%で2ヶ月連続プラスとなった。テナントは-0.1%と前年を下回ったがキーテナントが+1.4%と健闘した。

立地別では、中心地域は全体では+0.3%となり1月(-1.2%)から1.5ポイント改善したが、周辺地域は+0.3%となり1月(+1.9%)からマイナス1.6ポイントとなった。

地域別では、インバウンド効果が高い北海道(+0.8%)、関東(+0.4%)、中部(+1.5%)、九州・沖縄(+1.6%)がプラスとなったが、それ以外の地域はマイナスとなった。

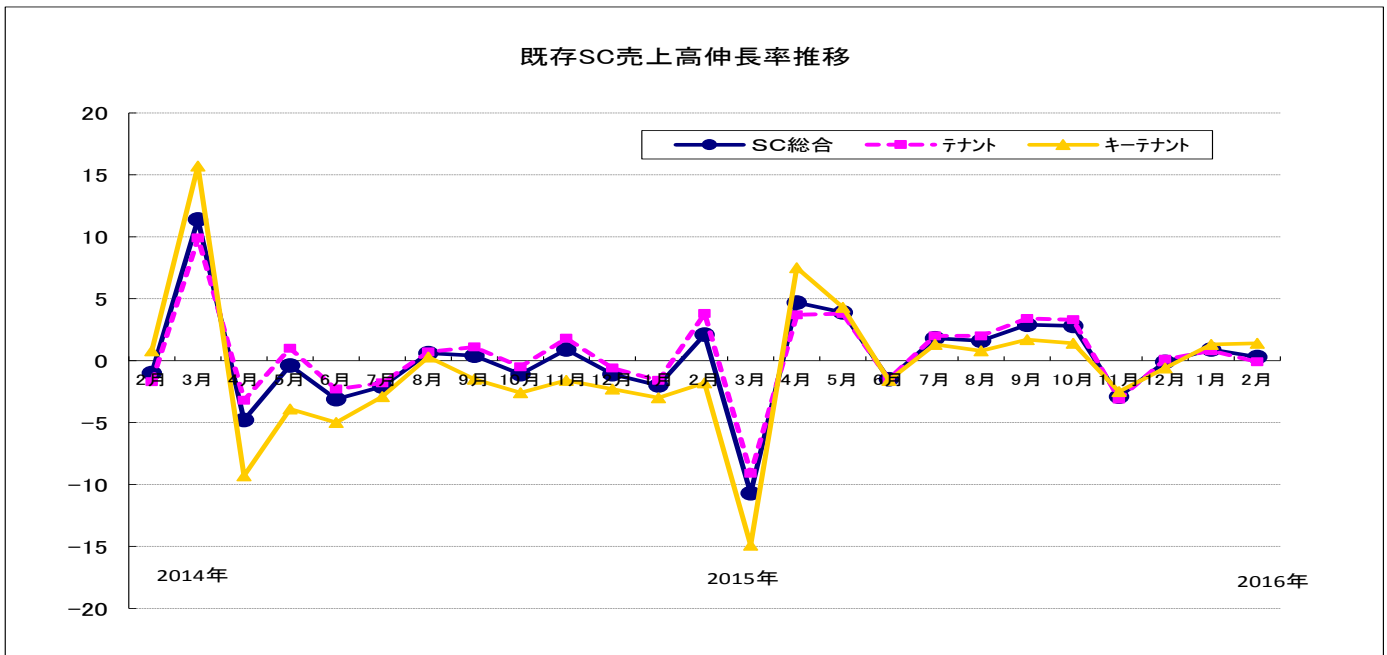
都市規模別では、政令指定都市が全体で+0.9%と好調で、特にキーテナントが+2.3%、名古屋市を除いて12都市すべてがプラスと好調さが際立った。一方、その他の地域は-0.1%となり政令指定都市とそれ以外の地域とで好不調が分かれた。

全体の好調要因としては、うるう年による営業日数増に加えて、春節によるインバウンド効果やリニューアルなどによる新規テナント導入の効果も挙げられた。一方で2月は全国的に降水量が多かった影響で、不調要因として天候をあげるSCが多く見られた。

好調業種としてテナントは飲食やサービス、キーテナントは生鮮食品や加工食品を挙げたSCが多くみられた。一方、不調業種としてテナント、キーテナント共に婦人衣料を挙げたSCが多く見られた。

＜トピックス＞

2月は降水量が全国的に多かったものの、前述の通り、うるう年による営業日数増や春節によるインバウンド効果に加えて、リニューアルによるテナントの入れ替えや新規テナントの導入が売上を押し上げた。



以上
この件に関するお問い合わせは 情報企画部:金田・今井・原田
TEL: 03-3536-8121